

アンケート調査結果

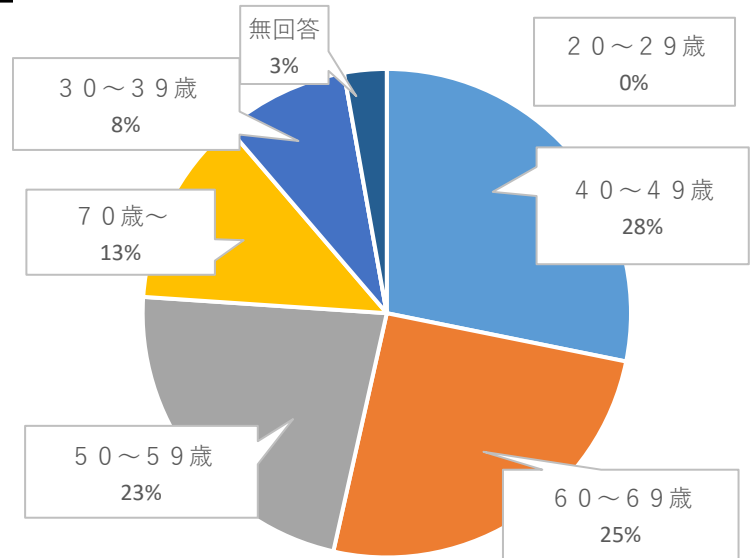
回答率 12.97% (71/547)

調査方法 郵送による配布。

FAX、インターネットによる回答

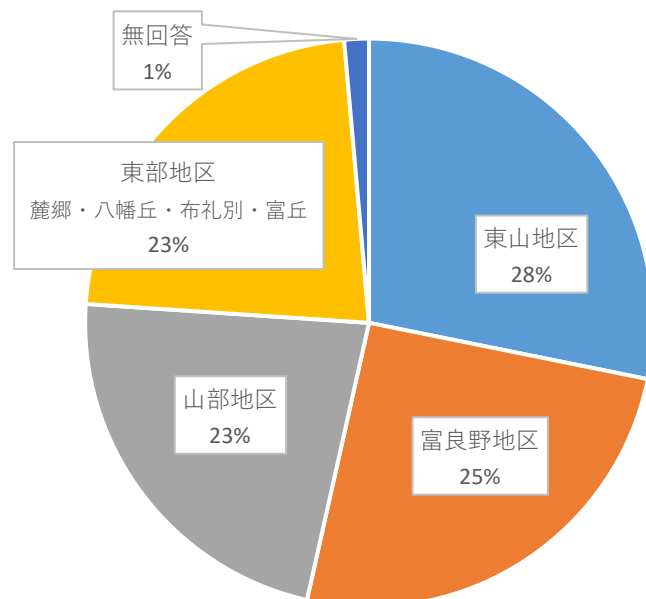
問1. 経営者の年齢

区分	回答数	構成比
40～49歳	20	28%
60～69歳	18	25%
50～59歳	16	23%
70歳～	9	13%
30～39歳	6	8%
20～29歳	0	0%
無回答	2	3%
合計	71	100%



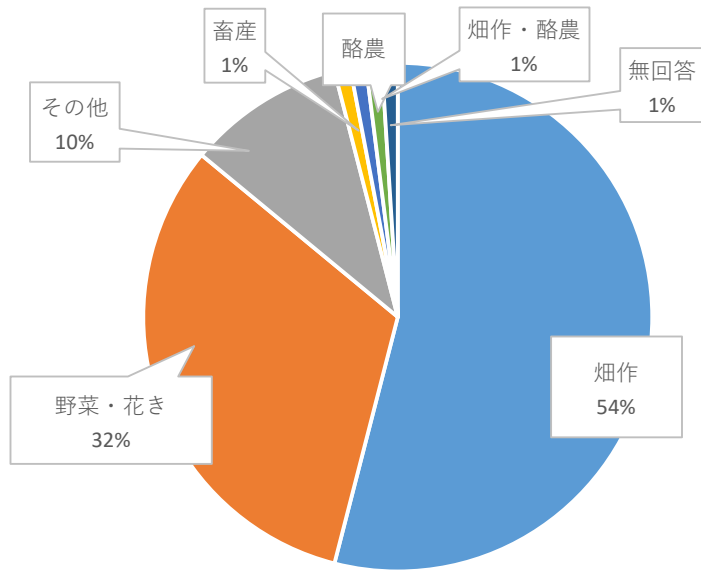
問2. 主とする経営地区

区分	回答数	構成比
東山地区	20	28%
富良野地区	18	25%
山部地区	16	23%
東部地区	16	23%
無回答	1	1%
合計	71	100%



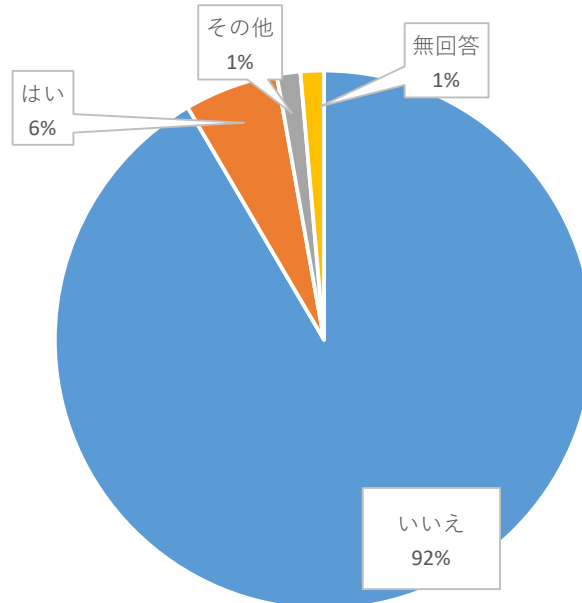
問 3. 経営形態

区分	回答数	構成比
畑作	54	54%
野菜・花き	32	32%
その他	10	10%
畜産	1	1%
酪農	1	1%
畑作・酪農	1	1%
無回答	1	1%
合 計	100	



問 4. 今後、現在とはちがう経営形態を考えていますか

区分	回答数	構成比
いいえ	65	92%
はい	4	6%
その他	1	1%
無回答	1	1%
合 計	71	

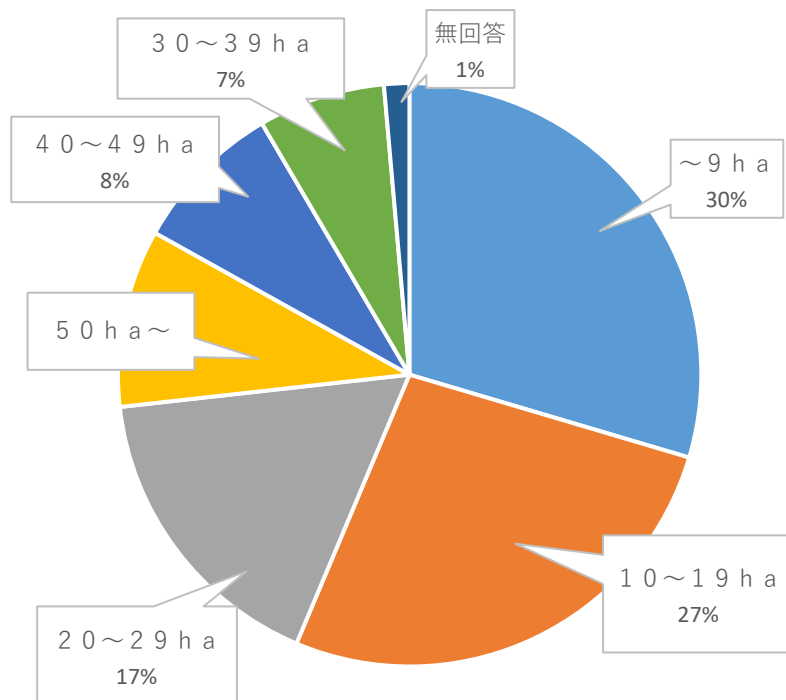


→はいと答えた方はどのような経営形態を考えていますか。

- ・ 農福連携という様な農業
- ・ 野菜及び畑作
- ・ 6次化
- ・ 具体的にはまだ決まっていないが、現在の作付作物の状況を見て考えたい。

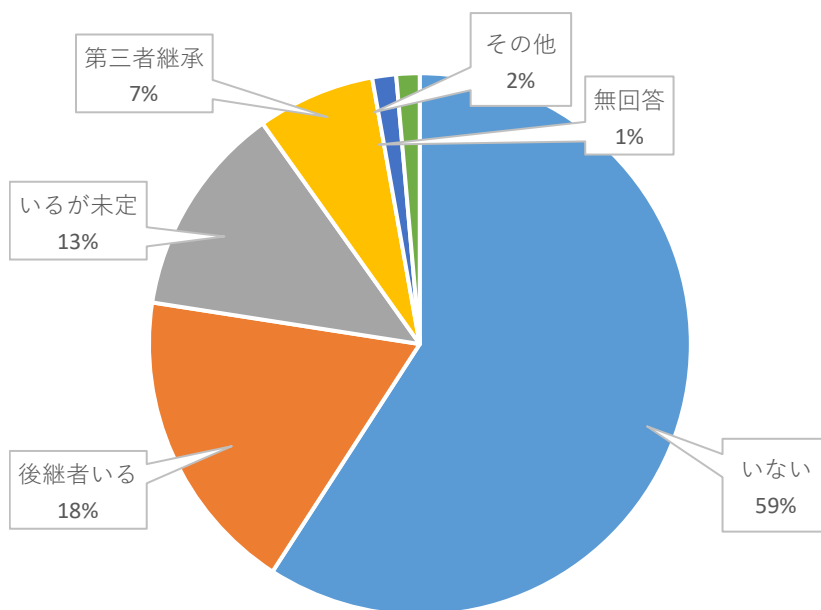
問5. 経営面積

区分	回答数	構成比
～9 h a	21	30%
10～19 h a	19	27%
20～29 h a	12	17%
50 h a～	7	10%
40～49 h a	6	8%
30～39 h a	5	7%
無回答	1	1%
合計	71	100%



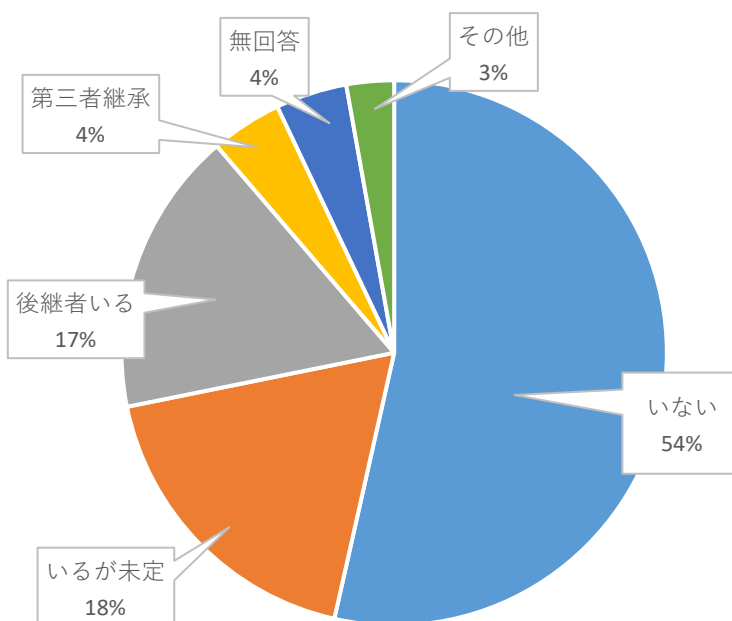
問6. 後継者（5年先）

区分	回答数	構成比
いない	42	59%
後継者いる	13	18%
いるが未定	9	13%
第三者継承	5	7%
その他	1	1%
無回答	1	1%
合計	71	100%



問7. 後継者（10年先）

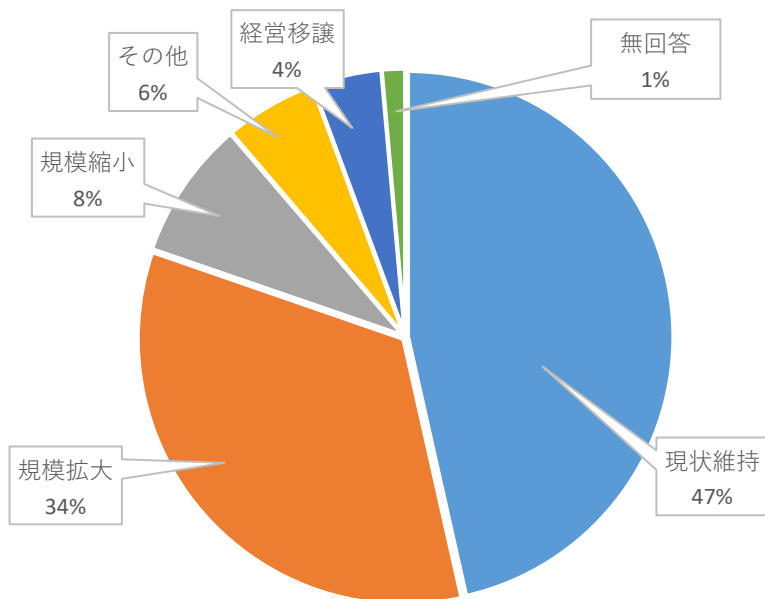
区分	回答数	構成比
いない	38	54%
いるが未定	13	18%
後継者いる	12	17%
第三者継承	3	4%
無回答	3	4%
その他	2	3%
合計	71	100%



問 8. 今後（5年、10年後）目指す経営規模は

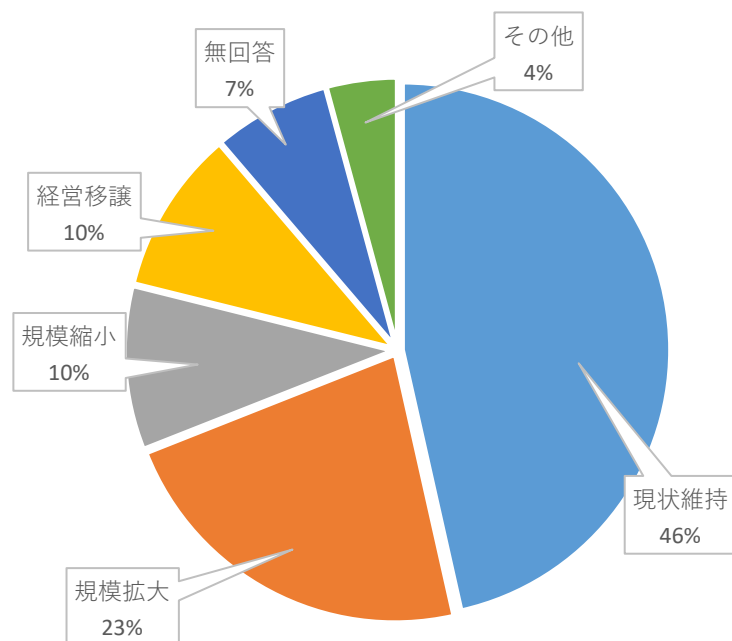
5年後

区分	回答数	構成比
現状維持	33	46%
規模拡大	24	34%
規模縮小	6	8%
その他	4	6%
経営移譲	3	4%
無回答	1	1%
合 計	71	100%



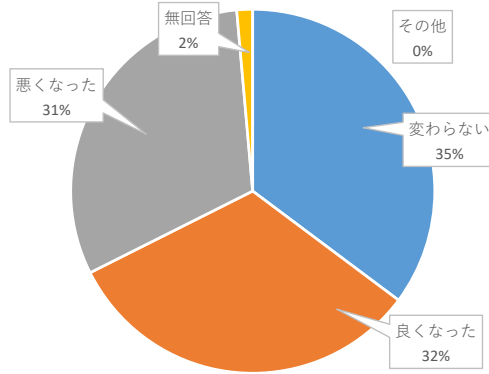
10年後

区分	回答数	構成比
現状維持	33	46%
規模拡大	16	23%
規模縮小	7	10%
経営移譲	7	10%
無回答	5	7%
その他	3	4%
合 計	71	100%



問9. 5年前と比べた今の経営状況はどのようになりましたか

区分	回答数	構成比
変わらない	25	35%
良くなった	23	32%
悪くなった	22	31%
無回答	1	1%
その他	0	0%
合計	71	100%

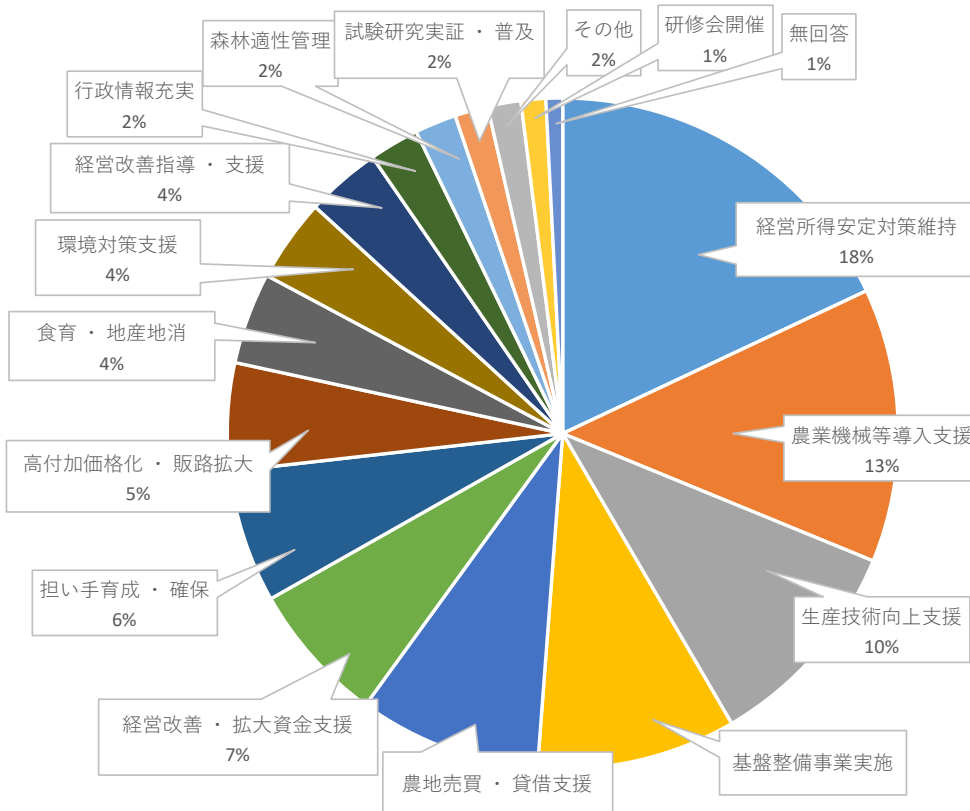


理由

- ①良くなった
 - ・ローンがない為
- ①良くなった
 - ・作付面積の拡大により、人的資源、機械資源の最適化がなされ、また野菜価格の相場高に恵まれ、経営状況は良好になった。
 - ・営農資金の積み増しが進み、機械更新や重点作物へコストをかける事ができ、収量を安定的にあげることができた為。
- ①良くなった
 - ・経営面積拡大と機械化により利益が出やすい状態になった。
- ①良くなった
 - ・売り上げアップ
- ①良くなった
 - ・所得が増え
- ①良くなった
 - ・顧客へDM発送や注文の簡略化などに取り組み、発注が上向いた。
- ①良くなった
 - ・面積が増えたため
- ①良くなった
 - ・販売価格が上がったが肥料などのコストも上がった。
- ①良くなった
 - ・栽培作物の販売単価が高くなった。収量が増えた。
- ①良くなった
 - ・投資も多いですが、規模拡大の効果が出ていると考えます。
- ①良くなった
 - ・収入が安定している
- ①良くなった
 - ・収益増、機械導入、農地集約
- ①良くなった
 - ・計画と効率化がうまく行っている。
- ②変わらない
 - ・面積拡大をしているので良い方向に向かっている。
- ②変わらない
 - ・あまり変わっていない。
- ②変わらない
 - ・資材、燃料の高騰
- ②変わらない
 - ・ハウスを増やしたいが人手がない為増やせない。
- ②変わらない
 - ・改善されつつある
- ②変わらない
 - ・天候に左右されることが多かったが、極端な不作にならなかったためだと思う。
- ②変わらない
 - ・品目が減った
- ②変わらない
 - ・作付面積作物の種類が、変わっていないため
- ②変わらない
 - ・生産費が上がった
- ②変わらない
 - ・大きくは変わらない。その時々で上下動がある。
- ②変わらない
 - ・販売単価が決まっている。
- ③悪くなった
 - ・コロナウイルス・肥料価格高騰
- ③悪くなった
 - ・200 h a 増えた
- ③悪くなった
 - ・肥料農薬燃料などの値上げにより、苦しい状況となっている。
- ③悪くなった
 - ・経費ばかり増えた。
- ③悪くなった
 - ・肥料高騰のため
- ③悪くなった
 - ・資材の高騰と鹿などの食害
- ③悪くなった
 - ・離農
- ③悪くなった
 - ・労働力の低下
- ③悪くなった
 - ・園芸作物、ミニトマト
- ③悪くなった
 - ・農業機械の入替、親会社からの貸付金の増加
- ③悪くなった
 - ・資材、機械の高騰のため。
- ③悪くなった
 - ・鹿被害が多くなった。
- ③悪くなった
 - ・肥料等物価上がり、購入に思案に困る。
- ③悪くなった
 - ・作物の値段は横ばいで、肥料や農薬などが高騰している。
- ③悪くなった
 - ・物価高騰、経営交付金の減少

問10. 重点的に取り組むべき施策はなんですか

区分	回答数	構成比
経営所得安定対策維持	45	18%
農業機械等導入支援	33	13%
生産技術向上支援	26	10%
基盤整備事業実施	24	10%
農地売買・貸借支援	22	9%
経営改善・拡大資金支援	17	7%
担い手育成・確保	16	6%
高付加価値化・販路拡大	13	5%
食育・地産地消	11	4%
環境対策支援	10	4%
経営改善指導・支援	9	4%
行政情報充実	6	2%
森林適性管理	5	2%
試験研究実証・普及	4	2%
その他	4	2%
研修会開催	3	1%
無回答	2	1%
合 計	250	



その他

- ・環境を重視した試験研究の取組
- ・害獣対策、草刈りや用排水維持などの圃場周辺整備支援
- ・鳥獣対策
- ・国次第

問 1 1. 労働力確保について、①必要とする時期、②必要とする人数、③作物をおしえてください。

①時期	②人数	③作物
4月～5月	3人	水稻
春・秋	1人	玉葱・アスパラ
8月下旬～10月	30人～50人	スイートコーン・馬鈴薯
8月～9月	2人	玉葱・アスパラ
4月～5月、8月～9月	各2人	玉葱
4月～9月	3人	メロン・ブロッコリー等
移植時の5月、収穫時の8月～9月	2人	玉葱・メロン
常時	20人	酪農
7月～9月	2人	ミニトマト
5月・9月・10月	3人	畑作全般・野菜
9月収穫時期	2人	馬鈴薯
通年	3人	メロン
作業機械で不足を埋めてきた。	0人	
春から秋	25人	メロン
収穫時期	2人	記入なし
通年で欲しいが忙しいのは2月～10月	2人	ミニトマト
5月上旬から6月中旬	2人	アスパラ収穫、メロン整枝
春の植え付け期間4.5月、収穫期間8.9月	2人	玉葱(親が作業できなくなった場合)
4月・5月	2人	玉葱
春・秋	3人	玉葱及び野菜
6月～10月	70人	西瓜・ぶどう
3月～9月	3人	メロン・南瓜
8月～9月	1人	馬鈴薯・スイートコーン
8月初めから10月頃まで	5人	人参・スイートコーン・南瓜
蒔き付けと収穫の時期に必要です。	1人	玉葱の植え付けと収穫の時期、麦の収穫時期
4月ミニトマト定植時期 5月から6月開墾期		
6月から10月末収穫期	8人	ミニトマト
7月上旬から9月下旬頃まで	3人	ミニトマト収穫
3月～9月	3人	メロン・トウモロコシ・ピーズ
春	30人	稲・畑
玉葱移植・収穫	2人～3人	玉葱
5月・9月	2人	玉葱
春・秋	1人	玉葱・甜菜・小麦
4月～6月	3人	水稻・施設園芸
今は、自家労働で補っている。	0人	今のところ、間に合っている。
収穫期	3人	スイートコーン
8月～10月	3人	スイートコーン・芋・甜菜
今の所無し	0人	今の所無し
収穫時期	40人	ぶどう
植え付けと収穫	2人	馬鈴薯・南瓜
開墾及び収穫	2人	馬鈴薯
9月・10月	3人程	芋・玉葱
9時～15時	3人	ミニトマト
春～秋	5人	玉葱
5月～9月	1人	メロン、作物全般の草取り作業、ハウス片付け作業等の雑務
3月末～11月上旬	3人～5人	Gアスパラ・ミニトマト
6月中旬～11月中旬	1人～2人	ミニトマト・西瓜・そば
8月	20人～30人	記入なし
5月～6月	2人	水稻・メロン

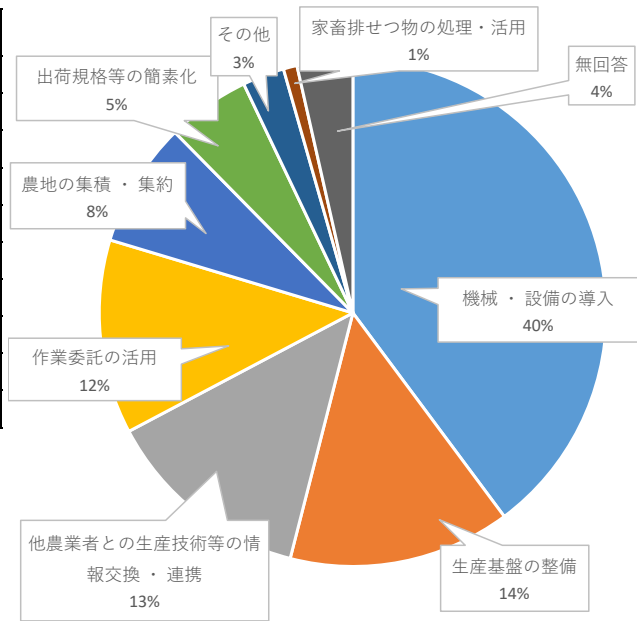
問12. 労働力の確保が困難となっている理由があればおしえてください

・雇用の減少、高齢化
・三女がいるので今はなし
・富良野地域の労働人口の減少
・現状は家族内労働で回している。
・親類縁者、友人等の高齢化で、今までお願いしていた方に頼みにくい状況で、昨年からはシルバー利用しはじめた。
・住居確保
・売上に見合わない。
・労賃が高い
・通年での仕事と労賃の確保
・労賃の高騰及び周年でないと来てくれない。・短期の短時間アルバイトで續けて来てくるのがうれしい
・SNS・ハローワークで募集をかけているが集まらない。働きたい人が何を求めているのか分からない。
例：賃金が低い、労働時間が長い、休みがないなど
・通年の雇用とならない点だと感じる。
・雇用の確保が難しい。人件費、肥料等の高騰がありながら、売上は変わらず、収支のバランスが悪い。
・ハローワークに求人を申し込んでも若手が来ない。また、通いに片道30分前後かかるため。
・JAのアグリプラン等の人員が少なくなっている。
・玉葱移植時だけ、来てくれる人が居ない。
・別にない。
・別にありません。
・現行、自家労力で対応している。
・人が来ない
・年代80才
・両親・出面さんの高齢化
・通年雇用できる作業がない。夏期だけに限っても、常雇用できる作業・所得がない。
・働き手の探し方がわからない。見つからない。
・作物によっては敬遠されたりする
・労働者の減少

無回答 45件

問 1 3. 農作業の生産性向上のために今後行いたいと考える取組（※ 2 つまで選択）は何ですか

区分	回答数	構成比
機械・設備の導入	45	40%
生産基盤の整備	16	14%
他農業者との生産技術等の情報交換・連携	15	13%
作業委託の活用	14	12%
農地の集積・集約	9	8%
出荷規格等の簡素化	6	5%
その他	3	3%
家畜排せつ物の処理・活用	1	1%
無回答	4	4%
合 計	113	

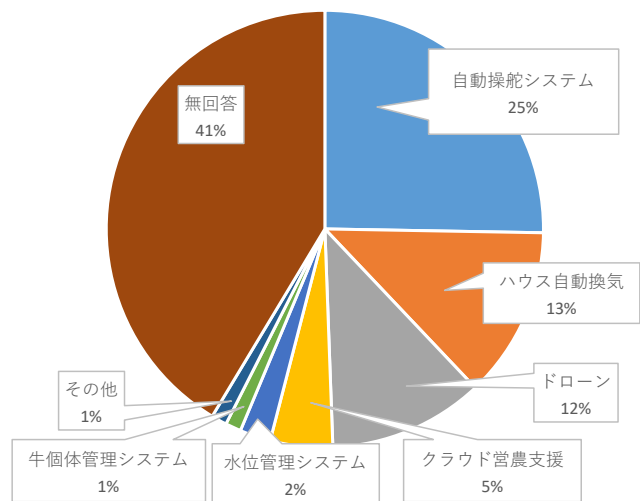


その他

- ・適期作業とそれを可能にする体制構築
- ・近い将来廃業するので

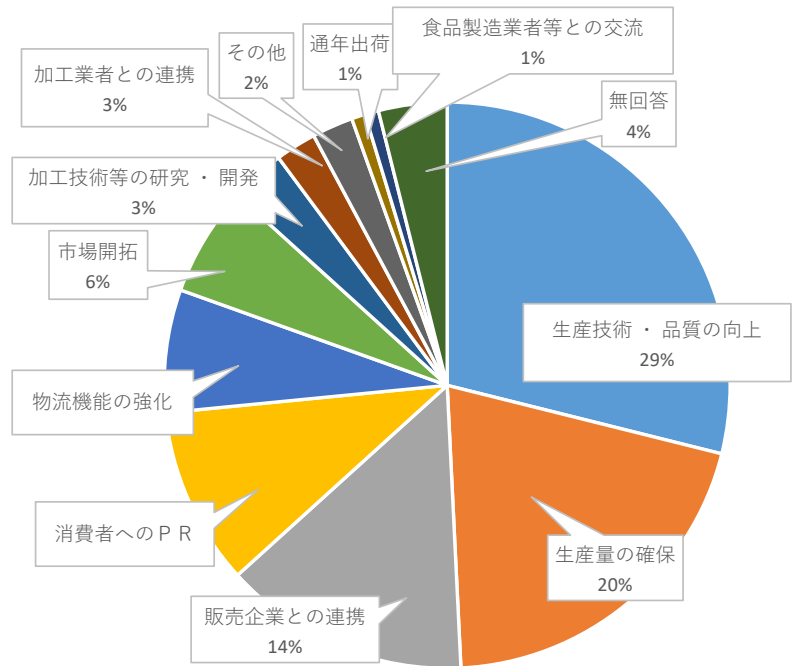
問 1 4. スマート農業機器で導入を予定・検討しているものがあればおしえてください

区分	回答数	構成比
自動操舵システム	22	25%
ハウス自動換気	11	13%
ドローン	10	11%
クラウド営農支援	4	5%
水位管理システム	2	2%
牛個体管理システム	1	1%
その他	1	1%
無回答	36	41%
合 計	87	



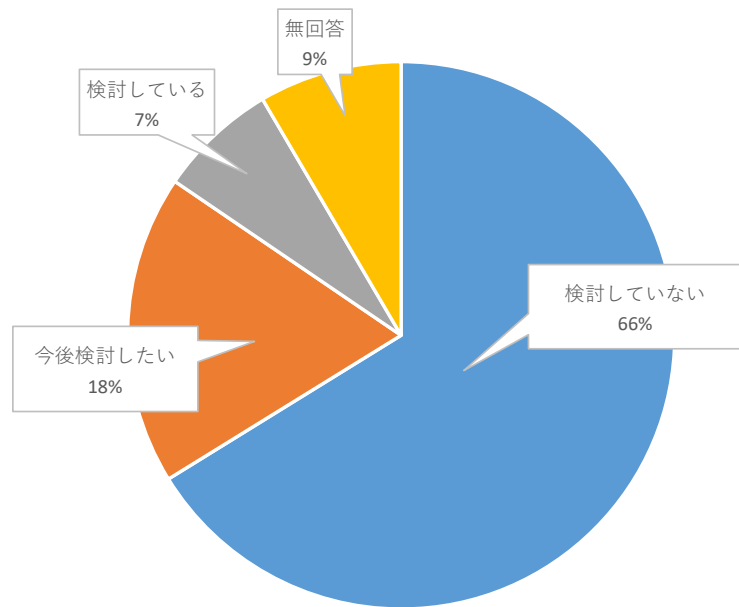
問15. 農畜産物のブランド力を向上させるために地域で取り組んでいく必要があると考えることは何ですか（※2つまで選択）

区分	回答数	構成比
生産技術・品質の向上	37	29%
生産量の確保	26	20%
販売企業との連携	18	14%
消費者へのPR	13	10%
物流機能の強化	9	7%
市場開拓	8	6%
加工技術等の研究・開発	4	3%
加工業者との連携	3	2%
その他	3	2%
通年出荷	1	1%
食品製造業者等との交流	1	1%
無回答	5	4%
合計	128	



問16. 新たに導入を検討している農畜産物がありますか

区分	回答数	構成比
検討していない	47	66%
今後検討したい	13	18%
検討している	5	7%
無回答	6	8%
合計	71	100%

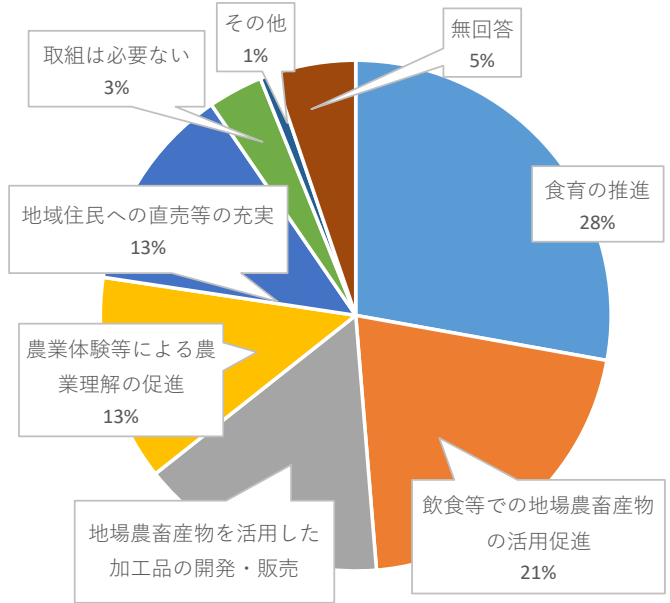


具体的な品目があれば記載

- ①検討している 大豆
- ①検討している 豆
- ①検討している 豆類
- ①検討している 子実コーン
- ①検討している 小豆
- ③今後検討したい ミニトマト
- ③今後検討したい 子実コーン
- ③今後検討したい 西瓜・アスパラ
- ③今後検討したい 大麦
- ③今後検討したい 今のところ無し。
- ③今後検討したい 大豆

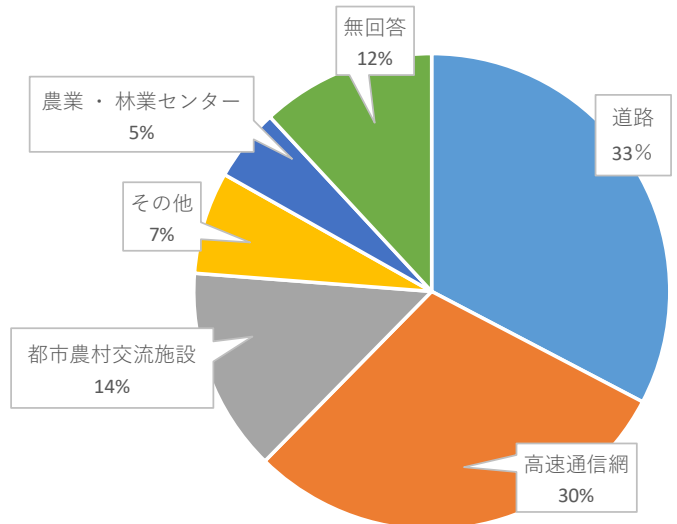
問 1 7. 地産地消の推進のため、地域で取り組んでいく必要があると考えることは何ですか

区分	回答数	構成比
食育の推進	32	28%
飲食等での地場農畜産物の活用促進	24	21%
地場農畜産物を活用した加工品の開発・販売	18	16%
農業体験等による農業理解の促進	15	13%
地域住民への直売等の充実	15	13%
取組は必要ない	4	3%
その他	1	1%
無回答	6	5%
合 計	115	



問 1 9. 快適な生活環境維持のために重要と考える生活インフラ等は何ですか

区分	回答数	構成比
道路	33	33%
高速通信網	30	30%
都市農村交流施設	14	14%
その他	7	7%
農業・林業センター	5	5%
無回答	12	12%
合 計	101	



その他

- ・ポイ捨て等のごみ対策
- ・医療施設と日用品小売店
- ・病院（特に小児科）、除排雪
- ・高齢者の移手段の確保
- ・光回線が配置されたのでネットの利用方法などの市職による地域指導

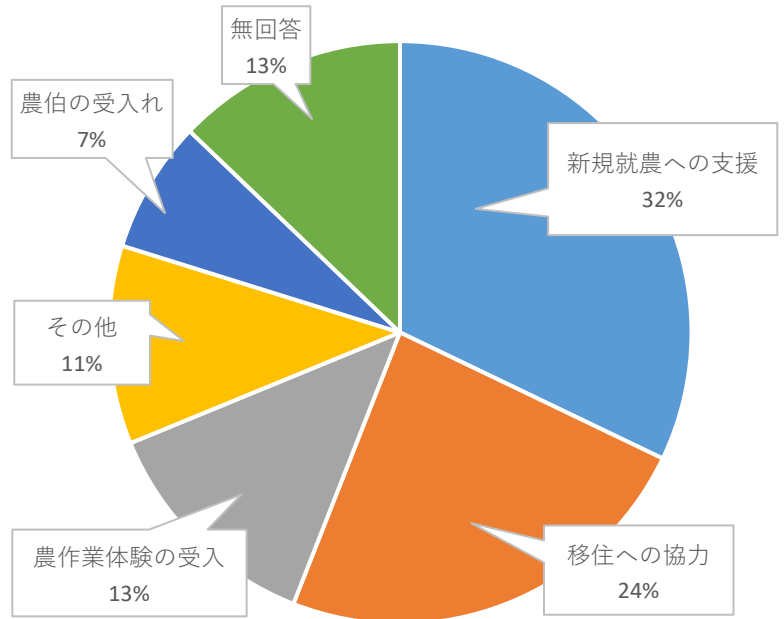
問18. 鳥獣害対策として必要と考える取組は何ですか

被害状況があれば具体的に記載（何動物、被害作物 被害面積・金額）

<p>・取組→電牧 被害→（エゾ鹿、踏み荒らし、被害面積5ha、玉葱）</p>
<p>・取組→鹿柵電牧 被害→（鹿・熊・アライグマ・ウサギ、ビート・馬鈴薯・スイートコーン・麦、被害面積50a、20万円ぐらい）</p>
<p>・取組→電牧</p>
<p>・被害→鹿の食害</p>
<p>・取組→電気柵の設置費補助（市・事業） 被害→（鹿・熊による食害、7ha、35万円）</p>
<p>・被害→（バカ）のシート穴開ける（デントコーン）、アライグマ、面積3間×20間、50万円</p>
<p>・取組→広域的な組織の設立（ 線）、養鹿牧場設立 被害→鹿、小麦、2ha</p>
<p>・被害→鹿・キツネ、玉葱、3ha軽微だが年々増加</p>
<p>・熊、鹿、ウサギ、キツネ、アライグマ</p>
<p>・鹿柵を金網フェンスにしてほしい。</p>
<p>・鹿 食害 踏まれる</p>
<p>・鹿・あらいぐま・カスによる食害、踏害。玉葱・小麦・南瓜・大豆・アサ・スルメ。玉葱18ha 小麦20ha かぼちゃ2ha 大豆2ha アサ20a</p>
<p>・鹿・熊・カス、スルメ・アサ、500a、200万円</p>
<p>・ウサギ、鹿</p>
<p>・畑に鹿の通り道があるので電牧が必須になっている。</p>
<p>・鹿柵の資材更新</p>
<p>・鹿・ウサギ、甜菜・玉葱 1町 100万円</p>
<p>・鹿・たぬき・アライグマ・キツネ、玉葱・スイートコーン、踏害・食害30a、20万円</p>
<p>・鹿・たぬき・アライグマ・うさぎ、西瓜・ぶどう</p>
<p>・鹿・熊・ウサギ、ビート・豆・スイートコーン・南瓜など、20haの2～3割の被害、200～300万円の被害</p>
<p>・鹿、熊</p>
<p>・鹿、ウサギによる食害。（麦、ビート、玉葱、小豆、南瓜）</p>
<p>・鹿、熊、キツネ、鳥類など。小麦、大豆などの豆類、スイートコーン、玉葱。 2～5ha</p>
<p>・現在設定されている防鹿樹脂ネットの交換、被害状況はネットの補修が追いつかないほどの損傷があり、作物の食害、踏害が大豆、ビート、馬鈴薯にみられ、電牧柵と併用してるが、まずは樹脂ネットの修復が急務と考えます。</p>
<p>・鹿対策</p>
<p>・鹿、熊などの被害が深刻</p>
<p>・取組→電牧の設置。 被害→鹿・ウサギ、麦類・ビート、150a、20万円</p>
<p>・電気柵の設置</p>
<p>・アライグマとキツネにとうもろこしを荒らされました。被害面積1a、約4万円の被害</p>
<p>・鹿・熊、スイートコーン・南瓜、10a位、10万円位</p>
<p>・農産物全てが鳥獣害（熊、鹿、ウサギ、カラス、鳩、等）に被害が出ている。専門の駆除員の要請</p>
<p>・取組→電気柵設置、狩猟免許取得、監視カメラ設置。被害→鹿、熊、アライグマ、キツネ、ウサギ、カラス</p>
<p>・鹿・熊、全作物</p>
<p>・鹿頭数減少でハンターなどによる間引き、ビートの食害引き抜き踏圧など、麦の食害踏圧、50万円位。</p>
<p>・鹿・うさぎ、玉葱・甜菜・麦類・ぶどう、22ha、22,100,000円</p>
<p>・なし</p>
<p>・鹿による食害、踏む。馬鈴薯・甜菜・南瓜・小麦・小豆</p>
<p>・取組→電気柵、鹿ソニック。被害→エゾ鹿、小麦・甜菜・馬鈴薯ほぼ全部、300万円以上</p>
<p>・アライグマの冬・春の捕獲促進</p>
<p>・取組→電牧・センサー機器等による進入防止。 被害→ビート、食害 20a、20万円、玉葱、圃場進入の踏み荒し、20a、50万円</p>
<p>・電気柵の助成。 被害→エゾ鹿・カラス・きつね・うさぎ・あらいぐま、全ての作物。</p>
<p>・鹿、稲・玉葱</p>
<p>・夜間の鹿の被害が多いので、夜間集団での駆除の検討。</p>
<p>・鹿・ネズミ、南瓜・小麦・芋</p>
<p>・取組→鹿柵見積依頼中、ハンター増員の希望 被害→鹿、踏害、玉葱・スイートコーン、約3反、¥？</p>
<p>熊、付近で目撃情報があり、夜業に支障。</p>
<p>・ハウス内へのカラス侵入が多い。対策として獣害対策用の音が出る装置を設置した。</p>
<p>・取組→電牧くらいしか思いつかない。被害→鹿・熊・うさぎ。熊を見かける機会が増えているし鹿も年々倍増している。</p>
<p>・もっと丈夫な鹿柵の導入や電気柵の幹旋や推進などあれば。 鹿・アライグマ・キツネ、30a、5万円～10万円</p>
<p>・鹿被害、小麦 10万円、小豆 40万円</p>
<p>・鹿・熊・アライグマ、駆除柵の修理等補助</p>
<p>・個体数を減らす。ビート・水稲・麦。鹿。食害・踏害。約200a（被害集約面積）</p>

問20. 農村地域の活性化に必要と考える取組は何ですか

区分	回答数	構成比
新規就農への支援	35	32%
移住への協力	26	24%
農作業体験の受入	14	13%
その他	12	11%
農伯の受入れ	8	7%
無回答	14	13%
合計	109	



その他

- ・そこに住基盤がある人の所得増加
- ・開拓ラボでの視察観光
- ・人口は減るので関係入口を増やすしかないかと思う
- ・都市圏にある大手企業の福利厚生事業等との交流で農村に人を呼び込み、都市圏に食をPR出来るのではと考えます。
- ・農業が楽しいと思える様な取組
- ・50代、60代の農家への支援。
- ・地域の固定概念を変える事
- ・農家の子供が夢を持って、安心して継げる仕組み。
- ・経済

問2 1. その他、市に求めることがあれば教えてください

- ・食育に力をいれるべき。
- ・人口減対応海外需要対応
- ・麓郷中学校を活用して、研究開発や宿泊所、視察観光などに用いたい。
- ・畜産農家の規模拡大による周辺住民及び周辺環境への影響を精査してもらいたい。 ・飼養頭数や牛舎の床面積等で立地に関する制限を設ける等の検討をしてもらいたい。
- ・鹿柵対策。金網フェンスにしてほしい。
- ・地域格差の是正過疎地域に予算がまわっていないもしくは、後回しになっている。
- ・道路排水整備
- ・新規就農だけでなく小規模のビールや農産物の加工などの2次産業を呼び込んで地域で6次産業化をしたら面白いと思う
- ・アンケートを取るのはいいけど、ただアンケート結果を出すだけでその後の対策を見たことがない、もっと見えるかたちで対策して欲しい、予算は少ないと思うがアンケート出して良かったと思う対策して欲しいですね、それでないともうアンケートには対応しないです。
- ・今の鹿柵では維持に手間がかかるだけでほとんど効果がない。 鹿柵の内側に電牧を張って何とかしのいでいる。山際の農家程被害も酷い。市は本腰を入れて対策を講じるべきでは。
- ・トラクター購入等の補助事業の条件をクリアしやすくして欲しい。
- ・農村地区の人口減少と共に、社会インフラが割愛されています。中心部より時間と経費をかけて生活しているのが実態ではないでしょうか？行政と共にJAも我々も責任があると思いますが、減るから無くなるのか、無くなるから人口減少するのか、マイナスをプラスに変える策を考え特色を活かしキラリと光る、人が来たくなる地域と出来たらよいですね。
- ・農業と観光がコラボして新しい町作り、豊かな象徴が農業である事を富良野市が全国に発信してほしい。
- ・道路わきの木の枝が道路にかぶってきているので切ってほしい。
- ・道路等環境整備
- ・東川町の取り組みを見習っては？
- ・市道補修など今、している事を、維持して行って下さい。
- ・ありません。
- ・なし
- ・補助事業推進、農道の整備、排水路
- ・助成事業、充実の検討。 ・市道の整備・補修（特にトラック・トラクターのバウンドによる危険性）
- ・どの地域も過疎化が進み後継者のいる所への農地の集積は難しい。国直、市町村が進んで集団農場をつくり、そこに住んでいる者は教え役、農協の退職者（技術屋、機械、営農、肥料、農薬）が新しき者を入れて集団をつくらなければ、熊と鹿しかいなくなる。何も、年金かけてもらう為に組織を維持していれば年寄しかいない。一つの集団で軌道に乗れば、利益は還元していけば地域が元気になる。それしかない。当然そこに住んでいる者は教えていかなければならない。今年の直新の10年20年30年後の人口（各市町村）減少率に書いて有る様にしらずしらずに近づいている事を忘れないでほしい。
- ・富良野市は農業と観光の町なので道路をアスファルトにしてほしい。また、麓郷市街地からアンパンマンショップに行く途中の市道の舗装を全面やり直しアスファルト（元の人参洗い場まで）
- ・ハウス新設の助成金をお願いしたい。規模拡大したいが、資材の高騰で新設出来ず。
- ・活力のある街づくりに期待しています。
- ・JA、普及所との連携を密にして欲しい。
- ・悪路の整備 ・高齢者の移動手段の確保